

# 平成26年度決算について

平成27年7月16日  
麻生議員提出資料

報 道 発 表

平成26年度決算概要（見込み）

平成27年7月3日  
財 務 省

（単位：億円、億円未満切捨）

〔歳 入〕		〔歳 出〕	
税 収	22,447	不 用	14,118
（主な内訳）			
〔 所得税	9,732	〔 国債費	3,239
消費税	6,899	予備費	816
法人税	5,186	その他	10,062
税 外 収 入	5,570		
（主な内訳）			
〔 返納金	3,071		
日本銀行納付金	1,185		
公 債 金	▲ 20,000		
計	8,017	計	14,118
		└──────────────────┘	
	合 計	22,135	(A)
地方交付税交付金財源増		6,364	(B)
差引 (A-B)		15,770	

（注1）上記のほか、復興分として450億円（23年度1・2次補正分37億円、23年度3次補正分等412億円）があり、今後平成28年度までに東日本大震災復興特別会計に繰り入れる予定である。

（注2）財政法第6条の純剰余金は、15,770億円（A-B）に上記復興分のうち23年度1・2次補正分37億円を加算した15,808億円となる。

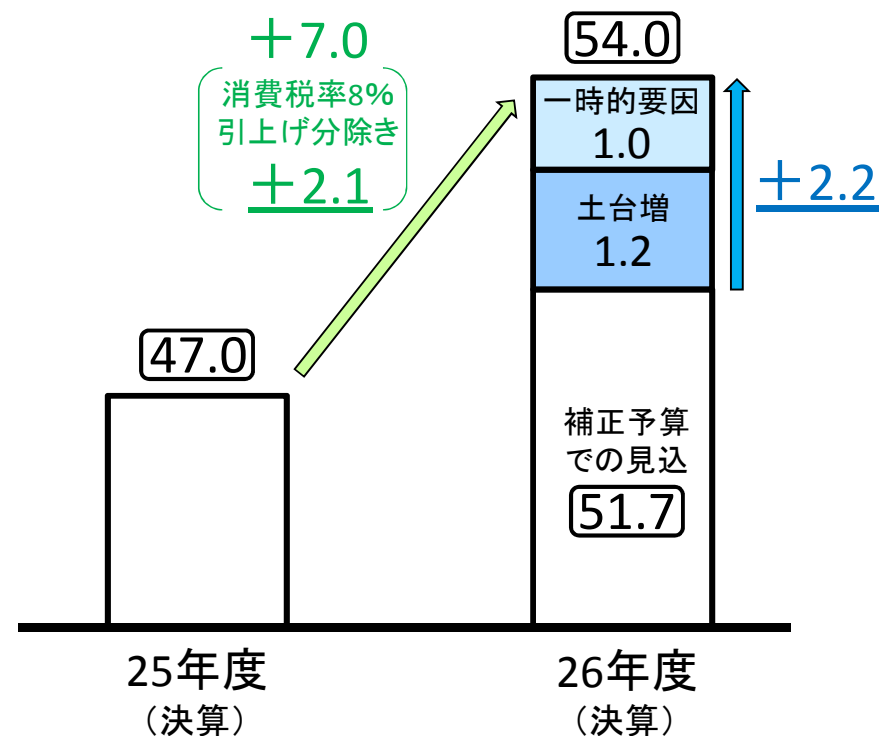
（注3）計数は、現時点における見込みであるので、異同を生ずることがある。

## 26年度決算税収について

- 26年度決算税収54.0兆円は、補正予算での見込(51.7兆円)と比べ+2.2兆円の増加。
  - 所得税: +1.0兆円の増加(配当所得の増加、株式譲渡益の増加等)
  - 法人税: +0.5兆円の増加(うち日銀による法人税納付分+0.2兆円。これを除くと+0.3兆円。)
- このうち、26年度限りの一時的要因による増は+1.0兆円程度。これを除くと今後の税収増に寄与する分(土台増)は+1.2兆円程度。
- 26年度決算税収は、前年度の25年度決算税収との比較では、+7兆円程度の増加。消費税率8%引上げによる増収が+5兆円程度あり、これを除くと+2兆円程度。

(兆円)

	25年度	26年度			
	決算額	補正予算 での見込	決算額		
	(①)			対補正	対25決算
		(②)	(③)	(③-②)	(③-①)
一般会計分計	47.0	51.7	54.0	+2.2	+7.0 (+2.1)
所得税	15.5	15.8	16.8	+1.0	+1.3
法人税	10.5	10.5	11.0	+0.5	+0.5
消費税	10.8	15.3	16.0	+0.7	+5.2 (+0.3)
その他	10.1	10.1	10.1	+0.1	+0.0



(注)「対25決算」欄の括弧内は、消費税率5→8%引上げによる増収分除き。